

第 27 回法医画像勉強会開催後記

令和 7 年 3 月 1 日（土）午後、東海大学伊勢原キャンパス松前記念講堂にて第 27 回法医画像勉強会を開催いたしました。参加人数は合計 67 名（会員 45 名、非会員 2 名、賛助会員 5 名、学部学生 5 名、スタッフ 10 名）と全国から多くの方にご参加いただきました。各地の銘菓をご持参いただいた皆さま、ありがとうございました。

特別講演では、日立製作所日立総合病院救急集中治療科医長の本木麻衣子先生と東海大学医学部専門診療学系画像診断学准教授の風間俊基先生にご講演いただきました。本木先生の「当センターにおける死後造影 CT 検査の取り組みと症例提示」では、救急での死亡直後の積極的な造影 CT 検査や塞栓症の診断について、実例を交えてご紹介いただきました。風間先生の「Dual CT と Photon-counting CT: 基礎とその臨床応用」では、解像度の高い Photon-counting CT のメカニズムから、除カルシウムした冠状動脈狭窄像の実例まで、法医画像の新たな可能性に繋がる最新画像ツールについてご紹介いただきました。

一般発表では、様々な症例や法医実務に即した研究について 11 演題が発表されました。座長の國中光先生（横浜市立大学）と 福田治紀先生（群馬大学）のスムーズな進行のもと、活発な質疑応答が交わされました。学部学生や研修生からの発表もあり、本勉強会が若手の教育や発表経験の場として生かされていることが実感されました。また、続く懇親会はキャンパス内のレストラン Sun-day で開催され、総勢 54 名にご参加いただき交流を深めることができました。

この度は法医画像勉強会を開催する機会をいただきまして、誠にありがとうございました。参加者同士の距離が近く、アットホームな雰囲気での議論ができる法医画像勉強会に教室員一同で参加でき、大変良い経験になりました。法医画像研究会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

開催するにあたり、ご指導いただきました法医画像研究会役員の先生方、完璧なスケジュールリングをしてくれた当教室の磯崎先生、多忙な日常業務と並行して協力してくれた教室スタッフの皆さまに心から感謝いたします。

東海大学医学部基盤診療学系法医学
垣本 由布